

(別紙3)

環政起第1536号-1

令和3年9月8日

米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター

公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団

理事長 伊澤 勇人 様

米子市長 伊木 隆 司

令和2年度「米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター」

指定管理者業務評価書

施設名	米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター
施設所管課	市民生活部 環境政策課
指定管理者名	公益財団法人 中海水鳥国際交流基金財団
指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日(5年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

設置目的を達成するため、事業計画に基づき事業を実施し、利用者から高い評価を得た。

令和2年度は、米子水鳥公園の開館25周年を記念し、式典の開催、記念グッズの作成等を行い、市民の自然環境に関する意識の向上を図るとともに、試験的に冬期平日の開館時刻を午前9時に変更し、来館者対応の充実及び業務の効率化を図った。

また、指定管理者である公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団が鳥取県環境立県推進功労者知事表彰を受賞した。これは、同財団が米子水鳥公園を拠点として平成11年5月から行う子どもラムサールクラブの運営が、環境教育の面で高く評価されたものである。

学習活動として、野鳥の専門家が講師として、自然観察会等定例のイベントを実施し、利用者の自然環境に対する意識の向上を図った。また、地域の住民やボランティア団体と協力して施設の特性を活かした事業を実施し、施設の多面的な利用及び地域の要望に貢献した。

施設管理としては、施設の老朽化による不具合に対する適切な修繕等、施設の安全対策を迅速かつ丁寧に実施した。また、新型コロナウイルス感染症対策及び夏期の熱中症対策を適切に実施した。

総合的に、良好な運営を行っているものと評価する。

【第三者評価】

高度な専門知識を持った指導員により、来館者への質の高い説明及び懇切丁寧な対応がなされている。講師派遣等の普及啓発活動も積極的に実施しており、知識等が地域に還元されている。

総じて、環境学習施設として地域社会への貢献を実現しているものと認められる点を高く評価する。

【今後の業務改善方策等の特記事項】 ※評価C及びDがないため記載なし。

【施設所管課】

【第三者評価】

(別紙2)

令和2年度下期「米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター」モニタリング評価表  
〔令和2年4月～令和3年3月〕

施設名	米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンター	
施設所管課	市民生活部 環境政策課	
指定管理者名	団体名	公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団
	所在地	米子市彦名新田 665
指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和3年3月31日	
選定方法	非公募	
施設の設置目的	市民の自然環境に関する意識の向上を図るため。	
主な実施事業	設置目的を達成するため、下記の事業を行う。 (1)野生鳥類等の観察並びに野生鳥類等及び自然環境に関する学習活動のための利用に供すること。 (2)野生鳥類等及び自然環境に関する資料の収集及び展示を行うこと。 (3)野生鳥類等の生態に係る調査及び研究を行うこと。 (4)前3号に掲げるもののほか、市民の自然環境に関する意識の向上を図るために必要な事業。	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認 (55点)</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査により確認：効率的な人員配置により業務を行っている。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料等で確認：学会への参加、講師派遣等により資質向上に努めている。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料等で確認：HPや公園だよりの活用、マスコミへの情報発信を積極的に行っている。
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	資料等で確認
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	A	資料等で確認：利用者からの意見に適切に対応している。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料等で確認

(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料等で確認：基準で定められた業務以外に、自主的に清掃・維持業務を実施している。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料等で確認
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査、資料等で確認：建物の機能維持のため、適切な営繕を実施している。
4 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料等で確認 運営上得た個人情報は施錠できるロッカーで保管している。
5 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	立入調査・聴取等により確認：市と情報共有し、方針の具体化に努めている。
<b>II サービスの質の評価 (20点)</b>			
1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	資料等で確認：利用者アンケートではスタッフの親切かつ丁寧な対応に対し高い評価を得た。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	立入調査により確認
3 運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	資料等で確認：コロナ対策を行いつつ慎重にイベントを実施し、来館者数の大幅減少を防いだ。
4 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	A	資料等で確認：施設の特性を活かし、野鳥等に関する展示、環境学習、調査研究等が実施されている。
<b>III サービスの安定性の評価 (15点)</b>			
1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	資料等で確認
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料等で確認
3 団体等の経営状況 (年度ごと)	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	B	資料等で確認

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>設置目的を達成するため、事業計画に基づき事業を実施し、利用者から高い評価を得た。</p> <p>令和2年度は、米子水鳥公園の開館25周年を記念し、式典の開催、記念グッズの作成等を行い、市民の自然環境に関する意識の向上を図るとともに、試験的に冬期平日の開館時刻を午前9時に変更し、来館者対応の充実及び業務の効率化を図った。</p> <p>また、指定管理者である公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団が鳥取県環境立県推進功労者知事表彰を受賞した。これは、同財団が米子水鳥公園を拠点として平成11年5月から行う子どもラムサールクラブの運営が、環境教育の面で高く評価されたものである。</p> <p>学習活動として、野鳥の専門家が講師として、自然観察会等定例のイベントを実施し、利用者の自然環境に対する意識の向上を図った。また、地域の住民やボランティア団体と協力して施設の特性を活かした事業を実施し、施設の多面的な利用及び地域の要望に貢献した。</p> <p>施設管理としては、施設の老朽化による不具合に対する適切な修繕等、施設の安全対策を迅速かつ丁寧に実施した。また、新型コロナウイルス感染症対策及び夏期の熱中症対策を適切に実施した。</p> <p>総合的に、良好な運営を行っているものと評価する。</p>	<p>合計点 (70)点 / (90)点 ×100 = (77)</p> <p>平均点 (3.9)点</p> <p>※昨年度 合計点 77点、 平均点 3.9点</p>
---	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

- ※評価区分
- A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）
  - B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）
  - C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）
  - D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項目	本年度〔令和2年4月 ～令和3年3月〕 A	前年度〔平成31年4 月～令和2年3月〕 B	対比 A-B、A/B		対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
開館日数	291	317	-26	91.8(%)	
施設利用者数	16,415	22,830	-6,415	71.9(%)	新型コロナウイルス感 染防止のため令和2年 4月14日から5月6 日まで休館とし、イベン トについては4月から 6月まで中止とし、以降 のイベントについては 人数制限を設けて開催 したため利用者数減と なった。
施設稼働率	79.7	86.8	-7.1	91.8(%)	
事業開催数	84	106	-22	79.2(%)	新型コロナウイルス感 染防止のため令和2年 4月から6月までイベ ント開催を中止したた め開催数減となった。

※2 事業収支

(1) 収入

項目	本年度〔令和2年4月 ～令和3年3月〕 A	前年度〔平成31年4 月～令和2年3月〕 B	対比 A-B、A/B (%)		対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
利用料収入	1,342,320	1,924,300	-581,980	69.8(%)	新型コロナウイルス感 染防止のため令和2年 4月14日から5月6 日まで休館とし、イベン トについては4月から 6月まで中止とし、以降 のイベントについては 人数制限を設けて開催

					したため入館料収入減となった。
指定管理料	42,715,000	42,166,000	549,000	101.3 (%)	
自主事業収入	0	0	0	0 (%)	
その他	431,320	607,597	-176,277	71.0 (%)	429,888 円 (内訳) 104,300 円 イベント収入 304,494 円 米子市補助金 21,890 円 We Love 鳥取 636 円 財団繰入金 イベント収入について、新型コロナウイルス感染防止のため令和2年4月から6月まで中止とし、以降については人数制限を設けて開催したため収入減となった。
合 計	44,488,640	44,697,897	-209,257	99.5 (%)	

(2) 支 出

項 目	本年度〔令和2年4 ～令和3年3月〕 A	前年度〔平成31年 4～令和2年3月〕 B	対 比 A-B、A/B (%)	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
人件費	34,132,918	32,492,822	1,640,096 105.0 (%)	
旅費交通費	19,000	22,100	-3,100 86.0 (%)	
通信運搬費	118,485	135,708	-17,223 87.3 (%)	
消耗品費	300,916	1,088,095	-787,179 27.7 (%)	事業別の会計区分の負担について見直しを行ったため。
修繕費	502,694	350,312	152,382 143.5 (%)	前年度実施しなかった正門横の砂利入れ整備を今年度は実施したため。
印刷製本費	0	498,690	-498,690 0.0 (%)	
燃料費	325,313	379,779	-54,466 85.7 (%)	

光熱水費	1,917,081	2,050,278	-133,197	93.5 (%)	
賃借料	69,850	180,810	-110,960	38.6 (%)	子どもラムサールクラブバス遠足のバス借り上げ料について、従来は指定管理業務で行っていたが、今年度は中海生態系調査研究事業により実施したため。
保険料	0	0	0	0.0 (%)	
諸謝金	0	0	0	0.0 (%)	
租税公課	2,127,280	1,992,410	134,870	106.8 (%)	
負担金	0	0	0	0.0 (%)	
委託費	4,523,173	5,036,819	-513,646	89.8 (%)	
図書費	0	0	0	0.0 (%)	
報酬費	450,780	468,924	-18,144	96.1 (%)	
支払手数料	1,150	1,150	0	0.0 (%)	
雑支出	0	0	0	0.0 (%)	
合計	44,488,640	44,697,897	-209,257	99.5 (%)	

### ※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔令和2年4～令和3年3月〕 A	前年度〔平成31年4～令和2年3月〕 B	対比 A-B、A/B (%)		備考
① 事業収支	0	0	0	0.0 (%)	
② 利用料金比率	3.0%	4.3%	-1.3	69.8 (%)	
③ 人件費比率	76.7%	72.7%	4.0	105.5 (%)	
④ 外部委託費比率	10.2%	11.3%	-1.1	90.3 (%)	
⑤ 利用者当たり管理コスト	2,710	1,958	752	138.4 (%)	
⑥ 利用者当たり自治体負担コスト	2,602	1,847	755	140.9 (%)	

#### ① 事業収支：(収入-支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

#### ② 利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

#### ③ 人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

④ 外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤ 利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥ 利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況（年度毎に実施）

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	備考
①自己資本比率	99.4	99.3	99.0	99.2	98.9	
②流動比率	622.7	496.1	411.0	460.3	540.1	
③固定長期適合率	97.3	97.3	96.0	96.2	95.8	
④総資産経常利益率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)各数値を見る限り、経営状況に問題なし。					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率 (\%)} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

②流動比率

団体の短期的な支払い能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払いを要する負債を「流動負債」と言い、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払い能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率 (\%)} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、または換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期



で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率 (\%)} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

〔公益法人会計の場合：固定資産 ÷ (固定負債 + 正味財産計) × 100〕

#### ④ 総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

〔公益法人会計の場合：正味財産増加額 ÷ 総資本 × 100〕

#### ■ 貸借対照表（例）

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	400	買掛金	400
受取手形	500	短期借入金	300
有価証券	200	流動負債合計	700
流動資産合計	1,100	固定負債	
固定資産		社債	300
建物及び構築物	200	退職給付引当金	200
土地	500	固定負債合計	500
投資有価証券	200	負債合計	1,200
固定資産合計	900	【純資産の部】	
		資本金	600
		利益剰余金	200
		純資産合計	800
資産合計	2,000	負債純資産合計	2,000

#### ■ 損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

※5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

利用者からの苦情はなかった。

- ① アンケートでは指導員による野鳥の観察指導が好評であり、技術向上に努めた。
- ② 来館者へのサービスとして、観察ホールに米子水鳥公園の最近のトピックスを伝える本日のおすすめ水鳥公園ニュースの情報看板を設置した。
- ③ 昨年度より新型コロナウイルス感染症が国内で流行したことを受け、市と相談の上、アルコール手指消毒液、次亜塩素酸ナトリウム溶液での物品の除菌などを用途に従い館内で使用した。また、マスクをつけていない人への配布準備、手の洗い方の掲示などを行い感染症拡大予防に努めた。

6 利用者アンケートの結果

- 季節の鳥や自然を見ることができ、とても良い時間が過ごせます。
- たくさんの鳥や動物がいて楽しかったです。
- 水鳥の観察が楽しかったです。また来たいです。
- 親切に教えてくださり、よくわかり、興味が深まりました。
- とても静かで、楽しかったです。
- 来て良かったです。ずっと気になりながら初めて来ました。今度はゆっくり来ます。
- セミのうかが楽しかったです。
- 鳥の楽園でした。高知から来ました。また来ます。
- 大変楽しかったです。
- 楽しく親切だと思いました。園児も参加できるイベントがあれば嬉しいです。
- 積み木が面白かった。
- 展示が可愛いです。
- 職員の皆さんが子供にも丁寧に教えてくださり、楽しめたようです。クイズが難しかった...
- たくさんの鳥がいて面白かった。鳥の特徴も覚えられて、また来てみたい。